

Girl gets Girl

THE Watermelon Woman

7-7-707.7-7-7



A Film by Cheryl Dunye



STAFF Written and directed by Cheryl Dunye
Produced by Theresa Walker / Camille Boppre
Casting Director: Cheryl Dunye / Diana Guinevere Brown
Costume Designer: Lisa Marie Brown
Music Supervisor: Tia Rodriguez
Production Office: USA / 80 # / 75-16mm / 1:33
電話: 7-7711-7



監修・解説：三上川
producer: Barry Swinart

Shirley Swinart,

 $\frac{7}{11} \cdot \frac{7}{11}$

受了賞受賞

當！

Music Supervisor: Bill Coleman

賞受賞!



1996年ベルリン国際映画祭



UPLINK

フィラデルフィアの
ビデオ・レンタルシ
ョップでダイアナ(グウェネ
ヴィア・ターナー)が出会ったの
は、いきなりカトリヌ・ドヌーヴ
の『反撥』を勧めてくる黒人の店員シェ
リル(監督自身)。——二人は最初のデー
トでベッドイン。

シェリルはフィルム・メイカー。映画を撮りた
いけどなかなかテーマが決まらない。
現在追いかけているテーマは“ウォーター
メロン・ウーマン”。ハリウッドの歴史が
無視し“スイカ女”とだけしかクレジット
されていない1930年代に活躍した黒人女
優。彼女はいったい誰だったのかという
ドキュメンタリー映画を撮影しようとし
ている。

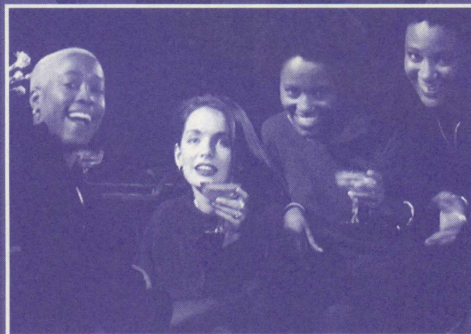


1994年に『GO fish』が製
作されてから、いくつもの
インディペンデント・フィルムがレズビアン
の監督たちによって作られてきた。その
中でも一番ヒットで、監督自身のアイデン
ティティやジェンダーをユーモアを交えて軽やかに
描いた作品が『ウォーターメロン・ウーマン』である。



Girl gets Girl

THE Watermelon Woman



ウォーターメロン・ウーマン

シェリル・デュニエ監督作品



『GO fish』の脚本と
主役を務めたグウェネ
ヴィア・ターナーがシェリルの
ガールフレンド役で登場。監督の
シェリル・デュニエは父親が西ア
フリカのリベリア、母親がフィラデル
フィア出身というアフリカ系アメリカ人。『ウ
ォーターメロン・ウーマン』
が長編映画デビュー作で1996



年のベルリン国際映画祭に
出品されベスト・ゲイ・フ
ィルムである“ティ・ベア賞”を受賞。
その他クレイユ女性映画祭観客賞、トリノ
ロサンジェルスなどのレズビアン・ゲイ映
画祭で観客賞を受賞している。また、アメ
リカでは、共和党議員がきわどいレズビ
アンのラヴ・シーンが描写されている本作品
に公共の資金である米国芸術基金 (NEA)
の助成金が使われていることを糾弾し論争を
巻き起こした。

レズビアンであり、アフリカ系アメリカ人
というマイノリティの監督シェリル・デュ
ニエは、『GO fish』のオープニングでレズ
ビアン・スタディの授業風景で語られる言
葉を『ウォーターメロン・ウーマン』ではエンデ
イングのエピグラフとして飾るのである。「人は、
自分自身の歴史を創造しなく
てはならないこともある」。



10月11日(土) ~ 10月24日(金) 待望のレイトショー!
連日PM9:00~1回のみ上映(終映PM10:25)

前売鑑賞券1400円絶賛発売中!(当日一般1,700円、学生1,400円の処)

前売券は当劇場窓口、ぴあ、EST-1、心斎橋そごうPG、バルコPGほか市内各プレイガイドにてお求め下さい。

アメリカ村BigStep 4F 06-282-1460

パラダイス・シネマ